

# 第27回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年1月

応募者名：東京都建設局

事業の名称：東京都市計画道路

幹線街路環状第6号線整備事業

実施都市名：東京都

渋谷区、中野区、新宿区、豊島区

## 事業目的

環状第6号線は、品川区東品川付近の放射第18号線より板橋区氷川町付近の放射第9号線に至る全長約20kmの道路である。本事業は、渋谷区松濤二丁目から豊島区要町一丁目までの約8.8kmの区間を首都高中央環状新宿線に併せて整備を行った。本路線の整備により、都心部の渋滞緩和、副都心相互の連携強化、首都高速道路や地下鉄の収容空間等も備えた道路となり、都市生活の利便性の向上が図られるものである。

## 事業概要

事業名称: 東京都市計画道路幹線街路環状第6号線整備事業

路線名: 環状六号線

事業箇所: 渋谷区松濤二丁目～豊島区要町一丁目

事業延長: 8,780m

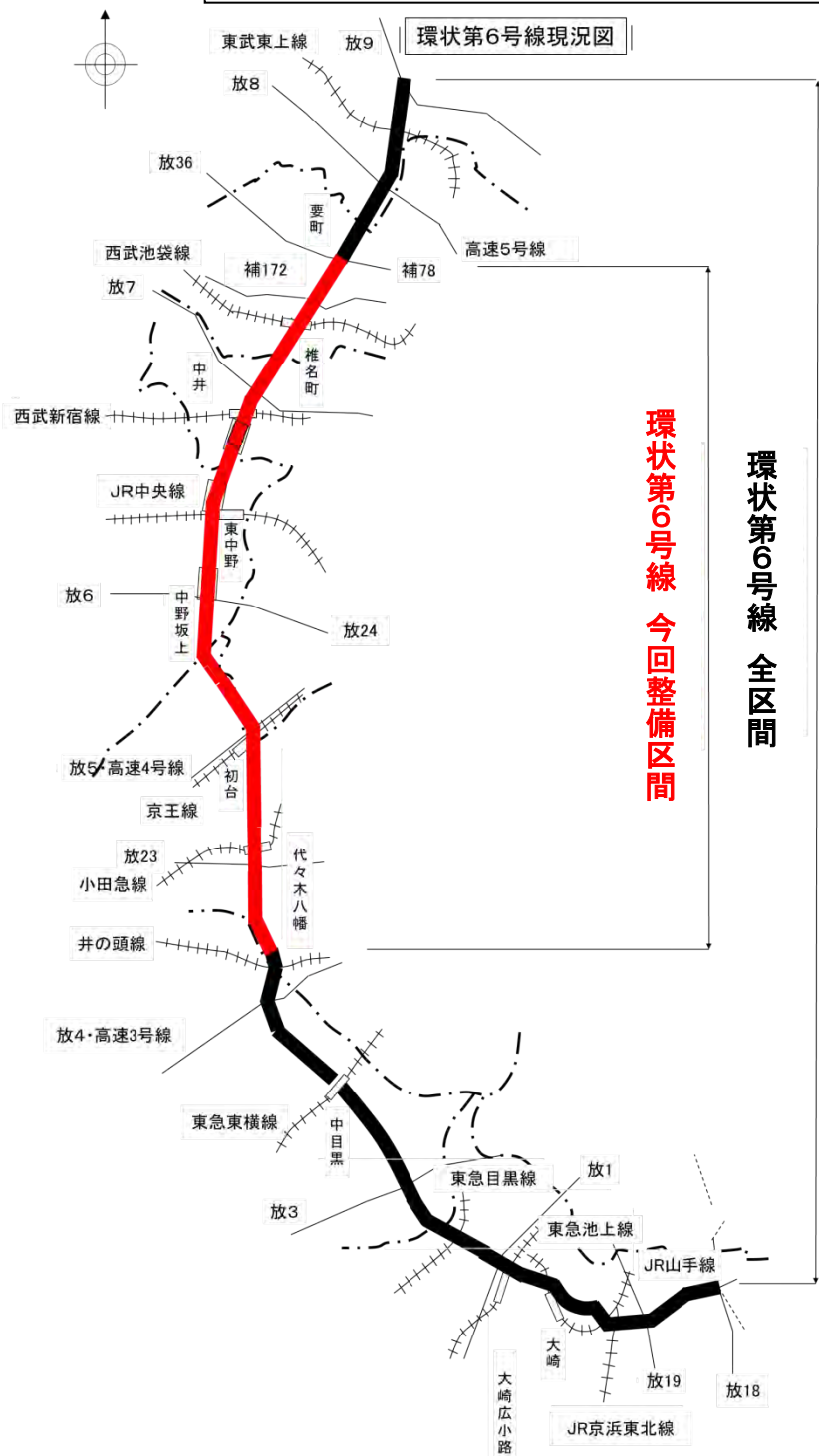
幅員: 40m

事業費: 約658,200百万円

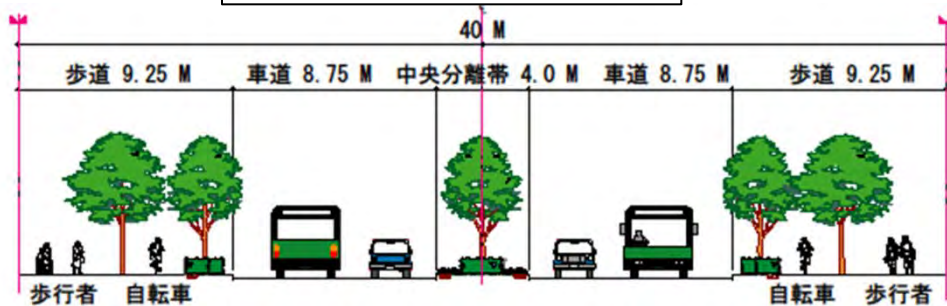
事業実施期間: 平成3年度～平成25年度

本事業は、全長約20kmの環状第6号線のうち、渋谷区松濤二丁目から豊島区要町一丁目までの約8.8kmの区間を幅員40mの道路として整備したものである。

# 事業位置図



# 標準断面図



# 環状第6号線の整備効果アピール資料

## 環状第6号線の3つの整備効果

### ①全ての交差点で右折レーンを整備



### ①全ての交差点で右折レーンを整備

慢性的な交通渋滞を解消

### ②全線で停車帯を整備

停車車両による交通阻害の問題を解消

### ③全線で自転車走行空間を整備

慢性的な交通渋滞を解消

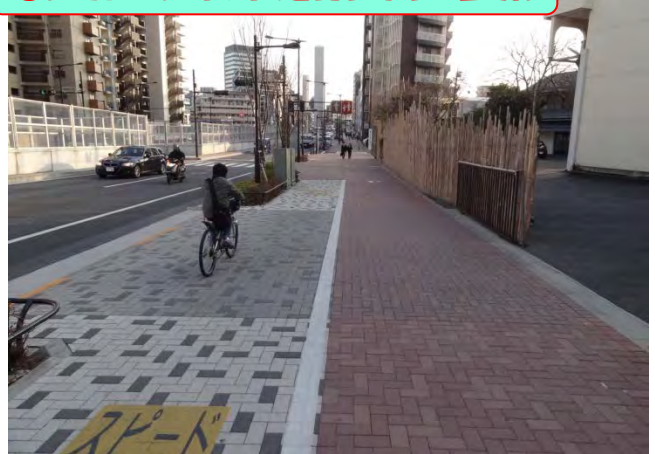
その他

- ・ 鉄道駅周辺では区の占用による駐輪施設を整備
- ・ 標識類の集約化
- ・ 全線で電線類の地中化

### ②全線で停車帯を整備



### ③全線で自転車走行空間を整備



### その他 鉄道駅周辺では区の占用による駐輪施設を整備



### 標識類の集約化



街路灯と規制標識  
を同一の柱で整備



# 事業前写真

宮下歩道橋より南側を望む

平成11年7月撮影



富士見台歩道橋より南側を望む 平成11年7月撮影





# 事業後写真

平成25年 9月撮影

宮下歩道橋より南側を望む



平成25年 2月撮影

富士見台歩道橋より南側を望む



# 路線全体の進捗状況

